

HOTeye

心と心のかよいあう福祉の情報誌

ホットアイ

2026 Vol.121

- P1 **特集** 福祉人材養成校紹介
これからの地域を支え貢献できる人材を育成
学校法人大阪滋慶学園「鳥取市医療看護専門学校」
- P5 チャレンジ福祉の仕事
学校法人大阪滋慶学園「鳥取市医療看護専門学校」
- P6 福祉の専門職をめざして
作業療法と子ども支援が同時に学べる魅力
「作業療法士」
- P7 福祉人材センター情報
●介護の認識を変える24分
短編映画『もう一歩』YouTubeで公開中!
●福祉の職場で働きたい方と
人材を求める事業所との橋渡しをしています

- P8 ボランティア・市民活動センター情報
とっとりボランティアバンク登録団体紹介
リベルタこどもプロジェクト
- P9 ボランティア・市民活動センター情報
鳥取県立八頭高等学校の取り組みレポート
- P11 ことぶき高齢者情報
ねんりんピック岐阜2025
- P12 ことぶき高齢者情報
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協議会からのお知らせ

医療と福祉の力で次世代の鳥取を創る



学校法人大阪滋慶学園 鳥取市医療看護専門学校

JR鳥取駅北口に隣接し、東に徒歩1分の場所にある
6階建ての白亜のビルが「鳥取市医療看護専門学校」です。
開校して10年、新設校ならではの最新医療機器・実習室を設置し、
医療・福祉分野の高度な知識と専門スキルを備え、
即戦力として活躍できるスペシャリストを育成するため、
実践力を高める充実したカリキュラムと教育環境を活かし、
鳥取県内はもとより西日本各地に医療・福祉人材を輩出しています。



これからの地域を支え貢献できる人材を育成



看護学科「成人看護技術」演習手術前訓練

では、医療事務検定資格取得に付加して介護福祉士実務者研修の修了を目指しています。

日本最大級の 滋慶学園グループの強み

「本校は、学生一人ひとりに寄り添った教育で、これまで900名以上の医療・福祉従事者を輩出し、開校以来、地域の未来を支え発展させる看護師・理学療法士・作業療法士・医療福祉系の人材の育成に取り組んでいます。

そして、全国にさまざまな専門学校を展開する滋慶学園グループと業界が連携し、教育から就職、さらには卒業後のキャリアアップ支援まで、全国規模のグループ力を活かした充実のサポートを行っており、希望する地域のグループ校編入やインターン・Uターン就職などが実現でき、本校の大きな特長です」と下田光太郎学校長は話します。

また、3つの建学の理念のもと、「実学教育」では、実践的な知識・技術の習得のために、各学科で量的・質的に充実した臨地実習の構成、地域の病院や施設でのボランティア体験

を取り入れて

ています。

「人間教育」

では、専門職

としての基盤

となる社会人基礎

力を養うためにキャリア教育に焦点

を当て、心豊かな人格の形成を図っ

ています。「国際教育」では、海外研

修を通して、国際的な感性を身につ

けるために、各学科に国際医療福祉

という科目が設置されています。

そして4学科の特徴を活かして、

入学前から卒業までシームレスに多



作業療法士学科座学

学校法人大阪滋慶学園
鳥取市医療看護専門学校
しもだ こうたろう
下田光太郎
学校長

職種連携(チーム医療)を学べるように、合同授業や交流を取り入れてカリキュラムを構成しています。

求められる多職種連携とその適応力を養う

本校は4学科で構成されていることから、多職種連携を深く学べる環境にあることが特徴です。そのため、各学科へ入学する前の入学前教育

鳥取市医療看護専門学校(以下本校)は、地域医療従事者の不足が課題となっていた鳥取市の要請を受け、大阪滋慶学園との「公私連携」のもと2015年4月に「看護学科」「理学療法士学科」「作業療法士学科」「言語聴覚士学科(後に医療福祉総合学科に変更)」の4つの学科で開校されました。

（ブレカレッジ）から多職種連携の基盤を養成するために多学科交流を図り、入学後は多学科交流と多職種連携の科目を設置して学んでいます。具体的には、お互いが各学科の専門性を理解して、事例検討からその重要性を知識と実践を結びつけて学びを深めています。

その一翼を担う「医療事務専攻」では、医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク®）をはじめ、医療事務として求められる資格取得を目指しています。それは、医療機関の窓口業務から、診断書などの書類作成、カルテの代行入力など、医師や看護師のサポート業務まで幅広く活躍する職業であることから、多職種連携においても重要な存在といえます。また本専攻では、介護の知識や技術を身につけ「介護福祉士実務者研修」を修了して卒業し、将来、現場経験を積んで介護福祉士として活躍することもできます。

医療と教育で 子どもの未来を支える

近年、神経発達症群や不登校の子どもが増え、子どもや高齢者など地域で暮らす人びとの健康と幸せを支える医療・福祉・教育専門職の役割が重要になっています。本校の「地域こども支援専攻」は、そのため

に滋慶学園の（職業人教育を通して社会に貢献する）という使命を基に設置された専攻です。

地域こども支援専攻は、看護学科・理学療法士学科・作業療法士学科へ入学した学生で、地域や子どもの支援に興味・関心をもつ学生が大学併修し、合わせて4年間学ぶことで、大学卒業資格（学士）が取得できます。

学士の取得とともに共生社会について、また障がいのある子どもへの教育的支援を深く学ぶことができることが特徴で、卒業後は各医療専門職の資格に加え、地域と子どもへの教育的支援において、知識と技能を身につけたゼネラリストとして地域貢献することが期待されます。

地域や行政との 連携から学ぶ

各学科では、地域の幼稚園・小学校・病院・施設へのボランティア活動を実践しています。理学療法士学科では、毎週火曜日に鳥取市立遷喬小学校で子どもたちと運動やスポーツを通して交流し、作業療法士学科では、毎週木曜日にフリースクールや子どもの施設で子どもたちと交流をするほか、鳥取市立遷喬小学校で「手話」や「ペーパーロールアート」作りなどを子どもたちと



作業療法士科「動作学」演習

絡に行いました。運動やスポーツ、作業を通して子どもたちのコミュニケーション能力や対人関係づくりに役立てています。また地域で暮らす

方々の健康を増進するための活動なども行っています。

そして、障がいのある方や行政と連携し、毎年鳥取駅周辺エリアを歩



下田光太郎学校長からのメッセージ

鳥取市医療看護専門学校は、鳥取市の要請を受け、大阪滋慶学園との公私連携のもとに設立された医療・福祉の専門学校です。看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科の4学科があり、地域の医療・福祉に貢献する人材を育てています。

実習病院は鳥取市立病院、鳥取医療センターを中心とした鳥取県東部の病院・介護施設・療養施設が主ですが、遠くは岡山県、兵庫県、大阪府等の施設でも実習を行っており、幅広く経験を積むことができます。

近年、様々な職域においてロボットやAIの導入が進み、医療・福祉現場においてもその導入が急速に進んでいます。当校は医療・看護・福祉の専門領域のみならず、そうした先端技術にも十分に対応できる能力をしっかりと身につけられる教育を目指しています。

そして医療現場においては、様々な場面で多職種連携が行われていますが、当校は学科を超えた連携が充実しており、現場で即戦力となることが期待されています。また姉妹校で、本校と交流授業も行っている「美作市スポーツ医療看護専門学校」では、「介護福祉士」などの資格取得もできます。思いやりの心を持ち医療・福祉現場で新たに働きたい方は、年齢性別を問わず、ぜひ一度説明会やオープンキャンパスに参加してみてください。



美作市スポーツ医療看護専門学校

遷喬小学校で子どもたちと一緒に「ペーパーロールアート」作り



き、危険な場所がないかを点検する「バリアフリー点検」と意見交換会を行っています。さらには、行政が実施する障がい者の理解を促進するためのイベントなどへ積極的に参加し、地域社会への理解を深めています。

入学から卒業まで 手厚いサポート体制

入学から卒業までのサポートとして、滋慶学園グループの学習サポート企業「JES C」が、自宅学習システムの活用や模擬試験などで、学力向上のための個人分析を行っています。「各学科では、学習、学校生活、就職まで一人ひとりに寄り添ったサポート体制を誇り、就職では、キャリアセンターと協働して学生の就職支援を実施し、開校以来就職率100%、国家試験合格率は90%以上と高い水準にあり、資格取得対策、就職サポートも充実しています」と作業療法士学科の石橋康信学科長は話します。

そして、修学資金の「鳥取県修学資金貸付制度」は、卒業後鳥取県内で各学科の専門職として就業する者に無利息で貸与するもので、本校の場合、毎月3.6万円(年間43.2万円)の貸与を受けることができます。また一定の条件を満たせば、全額または一部を返還免除することもできます。



作業療法士学科の石橋康信学科長

また本校では、リスキリングで看護師、理学療法士、作業療法士の資格取得にむけたサポート体制の充実を図っており、入学者の約40%が社会人の再進学で、「専門実践教育訓練給付金」の対象学科もあります。

【概要】

- 所在地 鳥取県鳥取市東品治町103-2
- 開設日 2015(平成27)年4月
- 運営主体 学校法人大阪滋慶学園
- 職員数 学校長、副学校長、専任教員24名、キャリアセンター2名、図書館司書1名、事務局6名、教務事務2名
- 取得資格 看護師、理学療法士、作業療法士、福祉住環境コーディネーター2級、初級パラスポーツ指導員、医師事務作業補助者(ドクターズクラーク®)、介護福祉士実務者研修、専門士、学士、支援教育専門士(称号)
- 定員 看護学科80名、理学療法士学科40名、作業療法士学科40名、医療福祉総合学科40名(共に昼間部・共学)
- 修業年限 看護学科・理学療法士学科・作業療法士学科共に3年、医療福祉総合学科2年、地域こども支援専攻1年(対象:看護学科・理学療法士学科・作業療法士学科で併修可)
- 入学相談窓口 本校入試事務局



Challenge チャレンジ福祉の仕事

学校法人大阪滋慶学園
「鳥取市医療看護専門学校」

福祉分野の質的变化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応じて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労することを目指し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

地域医療と福祉を支える理学療法士に

学校法人大阪滋慶学園「鳥取市医療看護専門学校」

理学療法士学科3年生

松本 彩希さん



松本さんは、身体機能面だけでなく、人と人の関わりで心の面でも支えることができる点にPTの魅力を感じています。また実習で、利用者ができなかったことが日に日にできるようになって

「両親が介護福祉士として働く姿を見ながら、中学生の頃からボランティア活動で高齢者施設に赴いたりする中で、高齢者と関わるのが好きになりました。そして、テレビのドキュメンタリー番組で理学療法士(PT)の仕事を見て、PTも高齢者を支えることができるのだと知り、この道を目指しました」と松本彩希さんは話します。そして「勉強を始めた頃は実技が多いのかと思いましたが、解剖学、生理学、運動学など基礎知識を学ぶ座学も多く、難しいと感じましたが、自分の体の中のことを知ることは少し楽しかったです」と笑顔を見せます。

また「本校はボランティア活動の機会が多くあり、様々な地域の方々と関わることができ、改めて地域医療と福祉に携わりたいと思うようになりました。また、行政の方と活動する機会もあり、自分の成長に繋がる良い機会となっています」と、地域を想う気持ちを感ぜさせます。将来はリハビリだけでなく地域での介護予防など、地域の方々と近い関係で地域医療と福祉を支えられる存在になりたいと考えている松本さんは、地域について理解を深め、関わりたいたいと思ってもらえるPTを目指しています。



1年に1回ある「課題研究発表会」で演者として発表する松本さん

いく場面を見ることや、感謝の言葉をもたえることなどもやりがいを感じています。

学校生活の学びについては「疑問をそのままにしないことを意識しています。実習では積極的に質問をして、臨床でしか学べないことをたくさん吸収しました。国家試験の勉強をしていく中でも、分からないことはすぐ調べて自分の知識にするようにしています」と話します。

達成感を抱きながら前向きに学べる場

学校法人大阪滋慶学園「鳥取市医療看護専門学校」

看護学科2年生

丈達 もかさん



子どもの頃から人の役に立つたと思えることがうれしく、仕事につなげたいと思っていた丈達もかさんは、困っている人のそばで支えることが自分の性格に合っていると思い、看護師を目指すようになった。

勉強を始めた当初は、「初めて聞くような言葉ばかりで、複雑で難しい印象を受け、付いていくのに必死でした」と話します。そして、単なる暗記ではなく、病態や治療などと関連つけて学習する必要があったため、基礎をしっかりと身につけることが大切だと感じていました。また「好奇心を持ち続け、何故だろうと疑問を持ちながら学ぶ習慣をつけることで、記憶にも残りやすく、途切れない学びにつながります」と、前向きな姿勢を感ぜさせます。

そのように学ぶ中で「1年次には苦手だった内容も、2年次には点と点がつながるように理解できるようになったことや、初めてバイタルサインを正確に測ることができたときには、大きな達成感がありました。先生と学生の距離が近く、困ったときにすぐに相談でき、サポートしてもらえる環境が本校の魅力だと感じています」と笑顔を見せます。

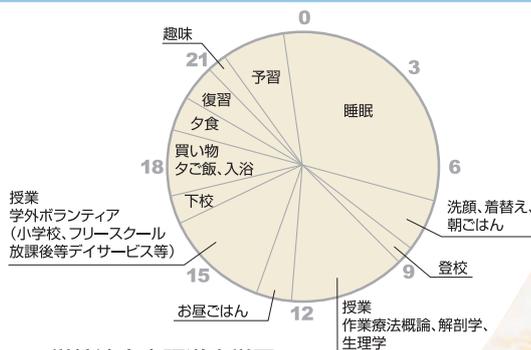


急性期看護として、手術期の看護技術を学ぶ丈達さん

「患者さんに寄り添う姿勢を忘れず、安心と希望を与えられるような看護師になりたいです。ただ医療処置やケアを行うだけでなく、患者さんが感じている苦しみや悩みを分かち合えるように、日々努力していきたいです」と、スペシャリストとして、学ぶことをやめないこととして、倫理観をもって言動することを忘れず歩む心構えです。

福祉の専門職をめざして「作業療法士」

作業療法と子ども支援が同時に学べる魅力



学校法人大阪滋慶学園
「鳥取市医療看護専門学校」

作業療法士学科1年生 徐 憶華さん

国家資格「作業療法士(OT)」は、体と心のリハビリテーションの専門家として作業療法を行います。「作業」とは、食事、入浴、家事や仕事、趣味活動など、生活に関わるすべての諸活動を指します。病气やけが、心の病など、様々な要因でその人らしい生活ができなくなったとき、作業療法を通して、基本的応用社会的適応能力の改善を図り、諸活動ができるように援助をします。

作業療法士をめざして 日本の鳥取へ来た動機は何ですか

中国で子ども発達支援と放課後デイサービスの仕事に就き、一人ひとりの心身の発達段階に合わせて子どもたちを支援してきました。もっと知識や技術を身につければ、子どもの発達をより良く支援できると感じていましたが、どこでどのように勉強すればよいのか分かりませんでした。そんな中、中日幼児教育交流会で中国の先輩から「作業療法士」という職業があることを聞き、調べてみると、これは自分が勉強したい職業だと確信し、仕事を辞めて本校へ進学しました。

作業療法士の仕事のやりがい・魅力をどのように考えていますか

どんな人でも希望や期待を持っていますが、病気で自分の意志を相手に伝えられずに気持ちを抑えたまま生活していることがあります。普段の生活に焦点を



あてると些細なことやできて当然なこと、対象者にとっては小さな幸せかもしれない。そうしたことに気づき、一人ひとりの人生や主体性を尊重しながらリハビリを行う作業療法士の仕事は、とても魅力的だと思います。

実際に作業療法士の勉強を始めたときの印象はどうでしたか

今まで知らなかった知識や専門用語がたくさんあり、復習や予習の内容も多くて大変ですが、分からないところを先生からとても親切丁寧に説明してもらい、クラスメイトとも一緒に勉強や練習をすることで、不安がかなり和らぎ、勉強に集中できています。

学ぶうえで大切にしていることはどのようなことですか

対象者を「人間」として尊重し、その人の状況に応じたリハビリを提供することが重要です。作業療法士は、些細なことにも心を配り、常に生活の質を向上させる意識を持つことが求められます。また、対象者

により良い生活の質を提供するために、専門的な知識や技術の習得と、対象者とのコミュニケーションにおいては傾聴などの技術を磨くことも必要だと思っています。

学校生活でやり甲斐や手応えを感じるのどんな時ですか

1年生でも、現場の見学実習やボランティア活動を通じて、OTの先輩から対象者の状況を専門的な視点で見える方法を学ぶことができます。これにより、実際のリハビリにおける実践と作業療法の基礎知識との関連性や重要性を理解しながら学習ができます。また、地域でも支援専攻も併修しているので、OTの知識と技術を学びながら、地域の子ども発達支援に関する知識も習得できることが、本校の最大の魅力だと考えています。

将来の夢、展望をお聞かせください

私は将来、自分の知識や力を活かして、出会った人々の人生を支えたいと思っています。高齢者や子ども、障がい者、そして一般の方々に対しても、その人が持つ強みや能力を見つけ出し、一緒にその力を活かして、できることや役割を通じて、自信や成長を実感し、人生を楽しめるようサポートしたいと思っています。

鳥取県福祉人材センターのご案内



介護の認識を変える24分 短編映画『もう一步』 YouTubeで公開中！

本作は、誰もが直面する“介護の選択”を描く、家族と介護職の物語。現役介護職らがストーリー監修にも関わった”現場の声から生まれたリアルであたたかな映画”です。

ぜひご覧ください。

制作：一般社団法人KAIGO PRiDE (KAIGO PRiDE FILMS)



動画視聴はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=7gk6rOn9AYk>

引用：一般社団法人KAIGO PRiDE

ホームページ

<https://kaigopride.jp/onemorestep-teaser>



鳥取県福祉人材センターの公式Instagramでは、各種事業のご紹介や就職活動に役立つイベント情報、福祉のお仕事の魅力などを発信しています！ぜひフォローをお願いします。



福祉の職場で働きたい方と 人材を求める事業所との橋渡しをしています

鳥取県社会福祉協議会（鳥取県福祉人材センター）は、職業安定法に基づく無料職業紹介事業（厚生労働大臣許可）をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。【無料職業紹介事業許可番号13-ム-010001】

■無料職業紹介事業

福祉の職場で働きたい方、求人情報を知りたい方には、求職登録や職業紹介、求人情報の提供を行います。

また、人材を求める事業所には、求人条件に該当する求職登録者の紹介など、求人者と求職者双方のニーズに応えます。ご利用は無料です。

福祉の職場で働きたい方 への職業紹介の流れ



人材を求める事業所 への就業あっせんの流れ



就職後の定着や
キャリアアップの
ご相談も

まずはご相談ください！

鳥取県福祉人材センター

〒689-0201鳥取市伏野1729-5

TEL (0857) 59-6336 FAX (0857) 59-6341

【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)

鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201鳥取市伏野1729-5

TEL (0857) 59-6342 FAX (0857) 59-6341

【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)

専用サイトで求職・求人の登録・求人票の閲覧ができます。

福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索



とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

リベルタこどもプロジェクト

「とっとりボランティアバンク」はボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する「きっかけ」を提供するため、県内の生活支援や災害ボランティアを中心にした情報を収集・発信しています。

バンクには「ボランティア活動をしたい」個人と「ボランティア活動をしたい／ボランティアを募集したい」団体が登録しています。このコーナーでは登録団体の活動や想いを紹介します。
[ホームページ] <https://www.torivc.jp>



子どもたちの不安を和らげたい

リベルタこどもプロジェクトは、「子ども食堂」「フードパントリー」「学習支援」の3つの事業を実施しています。子どもたちが所在なさそうに長時間集まっている姿や、お昼時に近くのコンビニでお菓子を買う様子を見て「ごはんや勉強はどうしているのだろうか」と思ったのが活動のきっかけです。活動を始めて「夕飯はロールパン一個」「中学3年生で分数計算ができない」「高校入試や留年がすごく不安」という声を聞き、少しでも彼らの不安を和らげたいという気持ちが強くなりました。

諦めなくてもいいんだよ

学習会は毎週日曜日の午後12時～2時実施しています。現在は学校を離れている教員や鳥取大学の学生に協力していただき、学校と同様の内容形式で授業をしております。「不登校で授業を受けられなかった」「学力がついていけなかった」「授業内容を忘れてしまった」などの悩みを抱える子どもたちには、



農家さんからいただいた食材をフードパントリーに仕分けしている様子

どもたちに「新たな学びのチャンスがある。諦めなくてもいいんだよ」というメッセージを込めて始めました。



笠原正和さん

また、バドミントンクラブ「UNITE」代表の笠原正和さんが協働

を申し出てくださり、クラブ生と共に学習会へ参加してくれるようになりました。笠原さんは「子どもたちに文武両道や社会貢献について考えてほしい」と思っていた。リベルタさんの活動は、その思いを形にできる場だと感じた」と話しており、学習会の大切な仲間として関わってくださっています。

苦手科目の授業が楽しかった

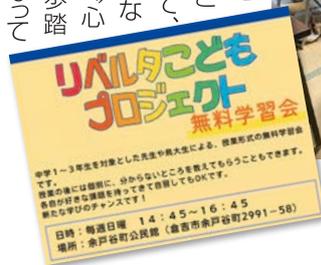
鳥大生たちに目的を説明すると「自分でも何かしら社会の助けになるなら」と、積極的に遠くから来て丁寧に、面白く授業をしてくださいました。その結果、子どもたちからは「解けなかった問題が解けた」「苦手科目の授業が楽しかった」という声が聞かれるようになりました。一方で、鳥大生が倉吉まで移動するのに時間がかかることや、子どもたちの保護者に学習会へ連れてきてもらえるような環境づくりの工夫などの課題を感じています。

一歩を踏み出すきっかけになれば

子どもたちには「諦めなくてもいい。これからつまづくことがあっても、どこかでまたやり直すチャンスがあるかも



鳥取大学の学生による学習支援の様子



また、この事業に参加した大学生たちも、社会課題を目の当たりにし、自分ごととして捉え「何か改革できないか」と考え始めてくれていたことが本当にありがたいと感じています。社会では人手不足が問題化していますが、ボランティアの世界でも同様です。リベルタこどもプロジェクトでは、とりこぼされる子どもたちがいないように、学習支援に関わってくださるボランティアの仲間を募集中です。

リベルタこどもプロジェクト

代表 大曲 圭子



「問合せ先」
電話 090-549603-6020

いき事業 鳥取県立八頭高等学校の取り組みレポート

地域に住む誰もが「ともに生きる」社会を目指して

鳥取県社会福祉協議会では、学生時代から「福祉の心」と福祉意識を養い、理解を深めることを目的に「ともに生きる」福祉学習推進事業に取り組んでいます。それは、授業や校内活動のみならず、学校生活を通して地域に学びのフィールドを広げ、多様な人たちとの出会いや交流から、福祉課題や生活課題に気づき、その課題を解決する方法を生徒自ら考えて企画・実践する力を身につけ、共生社会の実現を目指すことを目的としており、八頭高等学校を3年間の指定校と定めて支援しています。



鳥取県立八頭高等学校

自己を磨く大切な学びの機会として

指定校の八頭高等学校は、以前から地域そのものを教材として学習を深め、地域課題に気づき、向き合う探究しており、それを土台として積極的に解決方法を考え、実践す

る態度を養う取り組みとして指定を受けました。

そして、「①ふるさとに誇りをもち、これからの鳥取県の未来を考え、貢献しようとする心を養う。②社会における自らの役割や将来の生き方について自覚を深め、集団や社会の中で自己を生かす能力を養う。③異年齢の子どもや高齢者と共に活動する機会を通して、互いを思いやる感受性や社会性を伸ばし、共生社会の実現の担い手としての自覚を深める。」という3つの目標を掲げています。

担当教員の下田あゆみ先生は「地域の方々と交流する機会を通し、将来地域社会に貢献しようとする心や、自らの役割や将来の生き方についての自覚や自己有用感を養う重要な機会と捉えています。また、多様な人とともに活動する機会を通して、互いを思いやる感受性や社会性を伸ばすことを期待しています。」と話します。



下田あゆみ先生

地域の幅広い年代との交流を企画

今年度の事業は、9月に「地域住民との交流」として学校祭に地域の赤十字奉仕団を招き、地元食材を使って調理・提供を行うことを通して生徒と地域住民との交流を図りました。

12月は「バリアフリー学習会」で、各学年の人権教育LHR（ロング・ホーム・ルーム）推進委員が中心となって、校内に様々な人が来ることを想定したワークショップを通じて、普段意識しないバリアの存在を知



車イス利用者に校内のバリアフリー点検をしてもらいました



足が不自由という想定で階段を昇降してみました

り、誰もが安心して生活できるために必要なこと、自分たちにできることに気づく取り組みを行いました。そして1月には、体育類型の生徒が中心となって、地域の高齢者を招いてのフレイル予防体操やレクリエーションの企画・実践と交流をする「高齢者との交流会」を実施しました。また1年を通して、子ども食堂でのボランティアに参加し、小中



鳥取県ボラセン
キャラクター
「はーちゃん」

とっとりでもっといろいろきづくとも



外国人参加者に気づいた点を尋ねる様子



車イスにマットの境が引っかかることに気づきました



車イス利用者にトイレ設備を点検してもらいました



上萬信志さん

「目的の場所に行くルートが判らないので地図が必要」としながら「スマホを活用できるようにしては」など、

「学習会は「ワークシヨップを通じて、普段意識しないバリアの存在と当事者の（困り）感を知り、誰もが安心して生活をするために必要なことや自分たちにできることに気づいてください」と、下田先生の言葉で始まりました。

取材に訪れた「バリアフリー学習会」では、校内に様々な人が訪れることを想定して、車椅子使用の方、外国人、障がい者のほか福祉の専門職を招き、それぞれグループとなって校内の階段、スロープ、トイレ設備などを検証してまとめるワークシヨップが開催されました。

気づきを養う ワークシヨップ

学生との交流を行っています。



葉狩和香さん

「同じく2年生の前上帆乃佳さんは「小学校の時に学んだことから、日常の中のユニバーサルデザインを探すようになりました。誰もが生活しやすいデザインや人の立場に立つて見るのが大切だと思います。」と話します。

「地域の人たちが誰一人取り残されることのない社会を築く一員でありたい。」と、将来の自分の姿をイメージしています。

参加者の上萬信志さんは、1年生で今年初めての体験ですが「福祉の意味や福祉学習で何をやるのかを考えて学びたいです。」と前向きです。2年生の葉狩和香さんは「4階建ての校舎はエレベーターがなく、ケガをした生徒が上がるのが大変だと思っています。ユニバーサルデザインやバリアフリー化は、利用者の視点に立つて考えることが大切だと知りました。」と話すとともに「地域の人が誰一人取り残されることのない社会を築く一員でありたい。」と、将来の自分の姿をイメージしています。

バリアフリーに 欠かせない他者への 思いやり

多くの気づきが寄せられました。



前上帆乃佳さん

そして、福祉学習推進事業をサポートしている八頭町社会福祉協議会の藤田亮二さんは、「どのような人に対してもバリアを完全にフリーにすることは困難です。それを補うために個々の行動や言葉掛けでフォローし、助け合うことが大切です。体験をきっかけに新たな気づき生まれ、これからの豊かな視点につながっていくことを願っています。」と、総括としての言葉で学習会を締めくくりました。



八頭町社会福祉協議会の藤田亮二さんから総括をしていただきました

ねんりんピック岐阜2025



鳥取県選手団はばたく

総合開会式の様子

鳥取県からも21種目136名の選手監督が参加してスポーツ・文化の交流大会で競技や交流を楽しみました。

18日(土)に総合開会式が、岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催されました。開会式にはお笑い芸人の流れ星☆扮する徳川家康と石田三成を中心に各県の名前を染め抜いたのぼり旗を掲げ、ほら貝の音を合図に前進しても勇壮な感じを受けました。鳥取県選手団は、前進に合わせて目玉おやじの団扇を振るとともに、「ねんりんピック鳥取 ありがとう」の横断幕を掲げ感謝の意を表しました。

第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)が、10月18日(土)から21日(火)の4日間にわたり岐阜県で開催されました。

大会には47都道府県と20政令指定都市から約1万人が参加し、

スポーツと文化の交流大会が行われ、鳥取県の選手皆さんも日頃の練習の成果を存分に発揮され、大いに楽しんだ大会となりました。

また、11月21日には、上位入賞を収められた皆さんに御参加いただき、鳥取県庁において平井知事

に成績報告を行いました。令和8年度は、埼玉県で開催されます。岐阜大会を超える感動と情熱を期待したいと思います。

【主な上位入賞の皆さん】

○個人種目

マラソン2位 徳永和義

(70歳以上10km・男)

水 泳2位 八波淳一

(65〜69歳25m背泳ぎ・男)

(65〜69歳50m背泳ぎ・男)

囲碁 碁金勝負 石川武善

健康マージャン2位 梨原 剛

○団体種目

ソフトバレーボールブロック2位

囲碁 団体戦2位



鳥取大会の感謝とともに

募集

第2回 因伯ねんりんピック 出場者募集

令和8年度に行う第2回

因伯ねんりんピックの出場者を募集します。一部種目は「ねんりんピック彩の国さいたま2026」の選手選考を兼ねています。

＜実施種目、会場及び実施日＞

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、囲碁、将棋、健康マージャン、ラダーゲッターの14種目を予定。令和8年5月に県中部地区を中心に種目毎に開催します。

＜参加資格＞

鳥取県に在住する60歳以上の人。
※昭和42(1967)年4月1日以前に生まれた人

＜参加申込＞

所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、申込・問合せ先に郵便、メール又はFAXで送付してください。

＜申込期限＞

令和8年4月15日(水)必着

＜申込・問合せ先＞

(社)福 鳥取県社会福祉協議会
因伯ねんりんピック担当

電話 0857-59-63338

メール kotoori@kotoiri-wel.or.jp

FAX 0857-59-6340

恵まれた自然の光景が漂うお人柄



ことぶきレポーターの取材より

県内の素敵な高齢者を同世代のことぶきレポーターが取材をします。「シニア」の「シニア」によるシリーズ。地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている人など高齢者の魅力を余すことなく紹介します。



毎日をお過ごしの方の末次淳さんをご紹介します。

末次さんは、日野郡江府町の出身です。江府町は大山にほど近く、江府町側の鍵掛峠に上がると、新緑や紅葉が織りなす美しいコントラストを楽しめる絶景の地として知られています。また、古くから自然と歴史を大切にしている住民の気質が根づいてお

今回は、

鳥取市千代水でパワフルかつエネルギッシュな

り、世代を超えて伝統を受け継ぐ風習の中に、郷土をいつまでも大切に思う心が息づいているように感じられます。

そんな土地柄で育った末次さんは、お仕事の関係で平成8年から千代水にお住まいで、現在に至るまでその地で生活してこられました。千代水へ移り住んだ当初は土地に慣れていなかったにもかかわらず、30代という若さで自治会長を引き受けられたそうです。地域の皆さんと早く打ち解けたいという強い思いがあったのでしよう。普通なら尻込みしてしまうような役目ですが、何事にも積極的な末次さんだからこそ進んでお受けになったのだと思います。親しみやすいお人柄ゆえ、すぐに地域の方と打ち解けて仲良く過ごしてこられました。そして現在、末次さんは千代水の若者たちに、ご自身のふるさと江府町の荒神神楽の演舞を伝承しておられます。末次さんは高校時代に三兄弟で荒神神楽を始め、以来およそ50年にわたり続けてこられたそうです。徹底的にやる凝り性の性格もあり、今では趣



味を超え、長年の研鑽によって、卓越した舞の技を身につけておられます。さまざまな場で演舞を披露され、ふるさとの伝統を広くPRしておられます。今年の夏も、異常な暑さの中で鎧をまとい、千代水の若者たちとともに力強い演舞を披露されました。敬老会に招かれたお年寄りの皆さんも大変満足され、食い入るようにご覧になっていました。

また、その活力あふれる行動で伝統芸能にとどまらず、故郷・江府町での米作りや、千代水地区での民生委員・児童委員としての活動など、地域のために幅広く尽力しておられます。お仕事においても、定年退職後も同じ会社で働き続けておられ、職場の壁には人生の教訓を掲げ、その目標に少しでも近づきたいという強い思いが伝わってきて、心から素晴らしいと感じました。



取材を終えて一言

清水 はるみさん(鳥取市)

子どもの頃に触れた原風景は、その人の中に静かに根を下ろしているのだと感じました。そこで育まれた豊かさ

こそが、多様な活動に全力で取り組む行動力の源になっているのだと思います。

ボラ活で、まちとつながる、じぶんが変わる

学生向けのボランティアバンクPR動画を公開中です

鳥取県ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動をしたい個人・団体、ボランティアを募集したい団体が登録する「とっとりボランティアバンク」を運営しており、広く知っていただくためのPR動画を現在鳥取県社会福祉協議会のYoutubeチャンネルで絶賛公開中です。

バンクのPRだけでなく、実際の学生によるボランティア活動の様子や、活動を始めにあたってのQ&Aなど「学生がボランティアを始めるための入門編」としても視聴いただける内容ですので、ぜひご覧ください。

日本遺産でボラ活やってみた三徳山編

<https://youtu.be/MgyaXicFsNE>



地域とつながるボラ活 マルシェ編

<https://youtu.be/dIHq-tTxwN4>



教えては一ちゃん! ボランティア活動のあれこれ

<https://youtu.be/4cFMOnXV7ww>



とっとりボランティアバンクに登録しよう

<https://youtu.be/pbp4Mcelnas>



そんなときは…

とっとりボランティアバンク

ボランティアの力を借りたい

誰かのために力になりたい



ボランティア
したい人(団体)

登録すると何ができるの?

ボランティア募集や関連講座・研修などの情報を受け取ることができます。

どんな活動があるの?

災害支援

豪雨や台風で被災した地域では土砂の除去や家具の運び出し等を行いました。

生活支援

話を聞いたり外出を支援したり、大雪の時は雪かきなど様々なボランティアを行っています。

ご登録
ください!

登録方法

登録票に必要事項を記入のうえ、FAX、Eメール、郵送等で送付してください。

HP <https://www.torivc.jp/>

※HPから直接申込可能!



ご利用・ご登録は
全て**無料**です

※過去の活動の一例です

【お問い合わせ・ご相談は】

福祉振興部 鳥取県ボランティア・市民活動センターまで TEL:0857-59-6344 FAX:0857-59-6340
ボランティアに関するお悩み・ボランティアの募集や関連講座の情報等お気軽にご相談ください!

令和7年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

HOTeyeギャラリー

スポーツ指導者派遣の紹介

鳥取県障がい者スポーツ協会(鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア)では、主に障がい当事者を対象に、地域へスポーツ指導者派遣を行うことにより、スポーツ実践の場を創出し、また障がい者の自立と社会参加を促進するとともに、障がい者スポーツに対する理解の浸透や、共生社会実現の寄与を目指しています。

このスポーツ指導者派遣を開始して10年が経過していますが、これまで地域の障がい者施設・特別支援学校等へ派遣を行い、スポーツをする機会に触れていただいています。

指導は鳥取県障がい者スポーツ協会(鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア)職員の他、県内各地域に在住している(公財)日本パラスポーツ協会公認指導者資格保有者やスポーツFUNネットワーク(指導者・支援者の人材登録バンクのこと、公認指導者資格保有者以外も含む)登録者が行い、スポーツの楽しさ・面白さを少しでもお伝えできるよう、日々活動中です。

今までスポーツ活動をする機会が無かったが、これから取り組んでみようかな?とお考えの方がいらっしゃいましたら、そのお手伝いの手段の一つとして、スポーツ指導者派遣をご検討ください。

※今回ご紹介しているスポーツ指導者派遣は、別途要領を定めて行っております。
派遣をご希望の際は、正式な依頼の前に一度下記までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

〈スポーツ指導者派遣に関する問い合わせ先〉
鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア
(運営:一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会)
電話(0857)50-1091 URL <http://ts-sawayaka.jp>
営業時間 午前9時30分~午後8時30分
※12月~3月の日曜日は午前9時30分~午後5時30分営業
※火曜日(火曜日が祝日の際は翌水曜日)及び年末年始(12月29日~1月3日)は定休日

【これまで指導を行った種目の例】※掲載種目以外も実施



卓球パレ-



車いすバスケットボール



ふうせんパレーボール



筋力トレーニング

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)
URL <https://www.tottori-wel.or.jp> e-mail soumu@tottori-wel.or.jp



鳥取県社会福祉協議会ホームページ

福祉人材の確保・育成・定着を支援します

鳥取県福祉人材センター

TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341
e-mail jinzai@tottori-wel.or.jp



福祉人材センター
Instagram
公式アカウント

ボランティア活動の幅を広げる活動を応援します

鳥取県ボランティア・市民活動センター

TEL.0857-59-6344 FAX.0857-59-6341
e-mail vc@tottori-wel.or.jp

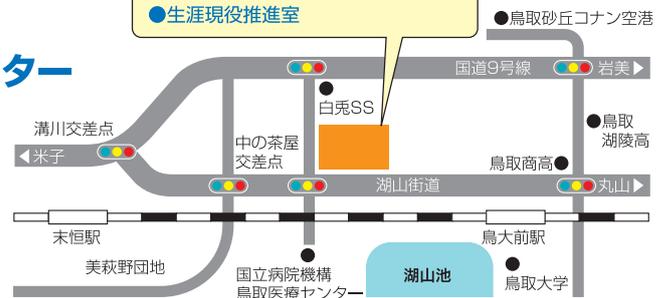
元気な高齢者の生きがい・社会貢献を支援します

明るい長寿社会づくり推進事業担当

TEL.0857-59-6338 FAX.0857-59-6340
e-mail kototori@tottori-wel.or.jp

県立福祉人材研修センター

- 鳥取県福祉人材センター
- 鳥取県ボランティア・市民活動センター
- 生涯現役推進室



本誌について、また、福祉に関することについて
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。



「ホットアイ121号」アンケート回答フォーム